

歯の相談室



北医療生協歯科
歯科医師 久野 よしの



Q: 歯医者で「むし歯になりかけています。」と言われたが治療は必要ないのでしょうか…

A: 以前から「早期発見・早期治療」といわれていますが、最近では「早期発見・進行予防」へと変わってきています。

学校歯科検診でも「初期う蝕^{しよく}」という項目ができて、治療が必要になる前に歯科医院で歯磨き指導や予防処置を受けるように指導されています。歯の表面のエナメル質にとどまっているむし歯の場合は正しい歯磨きとフッ素塗布などの進行予防処置を行います。フッ素については、はえて間もない歯を強くするためのものと考えられていましたが、最近では成人のエナメル質う蝕にも使われるようになってきました。予防処置を受けた後は定期的に歯みがきの状態をチェックし、経過を見ていく必要があります。

*う蝕とは…歯の組織が細菌によって破壊され、穴が開いたり虫歯になること